

【寄稿】

## 多目的人工芝グラウンド整備事業に関する寄付のお願い

学校法人島津学園 京都医療科学大学

事務局長 鈴木英文

平素より学友会会員の皆様には京都医療科学大学の運営に多大なるご支援をいただき、ありがとうございます。学生募集から卒業生の就職支援まで、学友会の先輩方から手厚い支援をいただけることは、本学の大きな魅力となっております。

先般、多目的人工芝グラウンド整備事業の寄付趣意書を送付させていただきました。現在のグラウンドを改修、全面芝生化を行い、のびのびとクラブ活動やスポーツが出来る環境を整えるものです。

京都医療科学大学は創立 90 周年を機に、新たな時代に対応できるよう、新校舎の建築、最新の画像診断装置の導入、奨学金制度の拡充、海外大学との交流、強い要望があった食堂の設置等を進めてまいりました。

これもひとえに学友会の皆様のご支援の賜物と厚く感謝しております。お陰様で在学生の学習意欲も大いに上がり、本学志願者の増加にもつながっております。

さて、学生には勉学に励むだけでなく、若人らしく屋外でのスポーツ活動にも参加し、心身ともに健全に成長してもらいたいと思っておりますが、本学グラウンドは度重なる豪雨でぬかるみ、使用に耐えない状況になっており、グラウンド整備が喫緊の課題となっております。

しかしながら、本学の資金は新校舎建築等で多額の支出をし、経済的に余裕がない状況でございます。そこで、創立 90 周年記念事業の寄付募集から、あまり時間も空かないなか、誠に心苦しいのですが、グラウンド整備のための寄付をお願いできないかと考えた次第です。

募集目標金額は1億円となっております。大きな金額ではありますが、島津学園、大学、学友会、保護者会の連盟で広く募集を行い、目標を達成したいと考えております。目標達成の目途がつき次第、着工を行い可能な限り早期に学生が利用できるようにいたします。

ご承知の通り、島津学園は二代目島津源蔵翁の「エックス線を用いる装置だけでなく、エックス線を扱う専門的知識と技術を有する技術者も世に送り出すという使命観」のもとに、1927年に創立され、以来この分野で日本の指導的立場にある人材を数多く輩出してまいりました。些かなりとも医療、科学技術の発展に寄与してきたと自負しております。教職員一同、今後も研鑽に励み、よりよい大学づくりに邁進したいと考えております。

経済環境も見通せないなか、無理なお願いは承知しておりますが、学友会の皆様のご支援が、後輩の学生にとっては、大きな励みとなります。母校の発展のために何卒ご支援のほどお願いいたします。

末筆ではございますが、皆様のますますのご活躍を祈念申し上げます。



以上